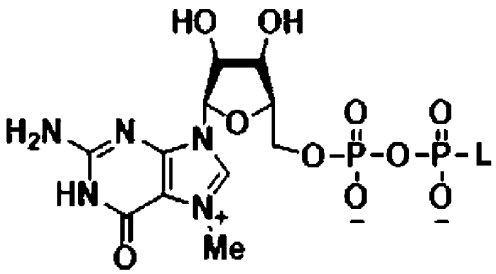
請求の範囲

[請求項1] ５’末端がキャップ修飾されたＲＮＡであるキャップ化ＲＮＡの製造方法であって、

下記式（１）で示される活性化キャップ化合物と、５’末端がモノリン酸化されたモノリン酸ＲＮＡとを反応させることを特徴とするキャップ化ＲＮＡの製造方法。

[化1]

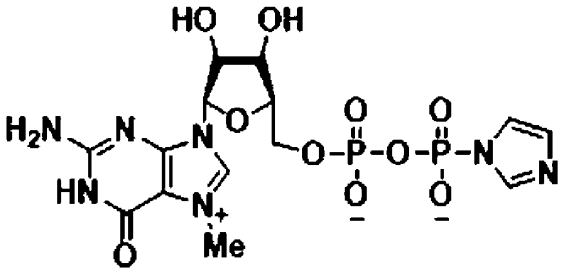


(1)

（ここで、Ｌは脱離基を示す。）

[請求項2] 前記活性化キャップ化合物が下記式（２）で示される化合物であることを特徴とする請求項１に記載のキャップ化ＲＮＡの製造方法。

[化2]



(2)

[請求項3] 前記活性化キャップ化合物と、前記モノリン酸ＲＮＡとを、ヘテロ芳香族化合物と、金属塩と、溶媒の存在下で反応させることを特徴とする請求項１に記載のキャップ化ＲＮＡの製造方法。

[請求項4] 前記金属塩がカルシウム塩であることを特徴とする請求項３に記載のキャップ化ＲＮＡの製造方法。

[請求項5] 反応温度が３０～６０℃の範囲内であることを特徴とする請求項１

に記載のキャップ化ＲＮＡの製造方法。

[請求項6] 反応時間が１～２５時間の範囲内であることを特徴とする請求項１に記載のキャップ化ＲＮＡの製造方法。

[請求項7] 前記溶媒が０～２０重量％の範囲内の水を含む有機溶媒であることを特徴とする請求項３に記載のキャップ化ＲＮＡの製造方法。

[請求項8] 前記活性化キャップ化合物の濃度が５～３０ｍＭの範囲内であることを特徴とする請求項１に記載のキャップ化ＲＮＡの製造方法。

[請求項9] 前記ヘテロ芳香族化合物が１－メチルイミダゾールであることを特徴とする請求項３に記載のキャップ化ＲＮＡの製造方法。